



羽島郡二町「立志塾」

夏休みに行われた3回の事前研修を経て、10月8日からの4日間、郡内小・中学生32人が乗鞍青少年交流の家などを会場に羽島郡二町「立志塾」に参加しました。飛騨・世界生活文化センター運営統括の六角 裕治氏や国土交通省の古屋 圭織氏などから、責任ある決断と行動ができるリーダーに必要な資質についての講義を受けたほか、河合小学校児童と共に歌舞伎について学び、化粧体験をしたり、白川郷学園児童生徒と共に集落を散策しながら英会話を実習したりするなど、多様な研修を行いました。最終日のシンポジウムでは、事前研修や4日間の熱心なグループ討論をもとに、いじめ問題や多文化共生、ごみ問題などのテーマについて「今、私たちができること、地域社会に望むこと」を町長さんに対して決意宣言したり、提言したりしました。これからのリーダーの活躍がさらに楽しみになった立志塾となりました。

これからの活躍に期待



歌舞伎化粧体験の様子

上達を目指して



丁寧な指導を受ける子どもたち

バドミントン交流会

10月20日、岐阜東南ロータリークラブ主催のバドミントン交流会が開催され、幼稚園児から中学生まで約100人が参加し、汗を流しました。

東京オリンピックまで2年を切り、スポーツへの関心がこれまで以上に高まる中、女子ダブルス世界ランキング1位の福島選手・廣田選手も所属する岐阜トリッキーパンダースの皆さんを講師としてお招きし、日本を代表する選手やコーチに指導いただきました。交流会では、時速200kmを超えるスマッシュを体感できる「スマッシュ体験コーナー」も設けられ、一流アスリートのスキルやパワーを肌で感じる貴重な機会となりました。

笠松力検定 ビギナー検定

10月26日、郷土に親しみを持つきっかけになればと、笠松中学校の1年生が授業の一環で笠松力検定を受検しました。生徒は、総合学習の授業や笠松かるたを通じて深めた知識を発揮しようと、真剣な面持ちで受検に臨みました。

笠松力検定は、町の魅力を再認識していただくために自然・文化・歴史・産業・観光・行政などの各分野から出題されるもので、笠松町を広く学ぶことができます。受検を希望される方は、20ページをご覧ください。

ふるさとを知ろう!



真剣な面持ちで検定に臨む中学生